



NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2017年6月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
身近な自然を知り守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

1. 富澤湧水を含む斜面林「白子宿特別緑地保全地区」の保護保全について

特別緑地保全地区となった富澤湧水では、湧水と斜面林の森全体の様子を見ながら、水量・水質や植生を調べ



急斜面の整備、竹の間伐



特別緑地内の石段整備

生き物、野鳥などの生息も含め、保全を進めています。急な斜面が多く注意が必要です。

2. 新倉ふれあいの森竹林整備と貴重種保護

新倉の竹林は、和光市内では市民が親しめる森として、貴重なところです。また貴重な植物の多い森と
和光市の協働事業として継続し、多くの方々に親しまれています。



美しい竹林の維持



3. 大坂ふれあいの森・白子大坂ふれあいの森の会に協力し保全が進む

大坂ふれあいの森は、いにしへの川越街道の脇にあり、歴史を感じさせてくれます。湧水もあり、春のカタクリやイチリンソウも見られます。道路に面した高木の枝剪定も出来ることから保全しています。道路からの足がかりをつくり斜面保護。貴重種や斜面保全の活動に役立てま



交通を妨げないように道路側の枝おろし



一株のサイハイラ

4. 朝霞県土の担当課と樹林公園パートナーズと当会の活動について話し合い

指定管理者が樹林公園パートナーズに変わり、朝霞県土担当課とパートナーズの斉藤さんを交えて会合を開きました。当会の活動への理解と今後について話し合いました。5月にはヒロハアマナ保護区の保全活動も進んでいます。



朝霞県土、樹林公園パートナーズ、当会と打合せ

ヒロハアマナ保護



松がぐんぐん成長松ぼっくりも見られます

